

平成 18 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 新日鉱ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 高萩光紀
コード番号 5016
問合せ先 総務グループ(IR・人事担当)
取 締 役 八 牧 暢 行
電 話 03-5573-5123

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 10 日に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

平成 19 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 5 月 10 日発表)	1,570,000	68,000	39,000
今回修正予想(B)	1,720,000	91,000	50,000
増減額(B - A)	(○)150,000	(○)23,000	(○)11,000
増 減 率	9.6%	33.8%	28.2%

<修正の理由>

平成 19 年 3 月期中間連結業績の売上高は、原油情勢を反映した石油製品価格の上昇および金属価格の上昇を主因として増収となる見込みであります。連結経常利益は、原油価格上昇による在庫評価益の増、銅価の上昇に伴う増益等を主因として、(○)230 億円増加の 910 億円となる見込みであります。また、連結当期純利益は、連結経常利益の増益等により、(○)110 億円増加の 500 億円となる見込みであります。

<セグメント別経常利益内訳(平成19年3月期中間連結業績予想)>

(単位:億円)

		前回	今回	差異	経常利益差異説明	17/上実績
石油 グループ	売上高	11,700	12,300	(○)600	価格転嫁遅れ等による減益はあるが、在庫評価益の増等により増益	10,872
	経常利益	220	245	(○)25		415
金属 グループ計	売上高	3,870	4,755	(○)885		2,688
	経常利益	435	640	(○)205		379
(資源・金属 カンパニー)	売上高	3,200	4,075	(○)875	銅価上昇、銅増販、持分法適用会社の増益等により増益	2,181
	経常利益	380	550	(○)170		315
(電子材料 カンパニー)	売上高	600	660	(○)60	圧延銅箔の減販はあるが、電解銅箔、ターゲット材の増販等により増益	474
	経常利益	20	45	(○)25		43
(金属加工 カンパニー)	売上高	270	340	(○)70	伸銅品、特殊鋼製品の増販等により増益	231
	経常利益	30	40	(○)10		26
(金属調整)	売上高	200	320	(×)120		198
	経常利益	5	5	-		5
その他 セグメント	売上高	280	275	(×)5		232
	経常利益	25	25	-		37
消 去	売上高	150	130	(○)20		142
計	売上高	15,700	17,200	(○)1,500		13,651
	経常利益	680	910	(○)230		831

<平成19年3月期連結業績予想>

中間決算発表時に発表いたします。

<参考>前提条件(平成19年3月期中間連結業績予想)

		前回	今回	差異	17/上実績
石油 グループ	為替レート(円/\$)	110	115	(+)5	109
	原油FOB(\$/BBL)*	58.0	64.9	(+)6.9	51.6
	パラキレン市況(\$/t)	1,055	1,160	(+)105	919
資源・金属 カンパニー	銅価(¢/lb)	240	314	(+)74	162
	電気銅販売量(千t/期)	304	312	(+)8	302
電子材料 カンパニー	電解銅箔販売量(t/月)	1,930	2,100	(+)170	2,097
	圧延銅箔販売量(千m/月)	4,600	3,736	(-)864	3,021
	ITOターゲット販売量(t/月)	30.0	30.5	(+)0.5	24.2
金属加工 カンパニー	伸銅品生産品販売量(千t/期)	19.9	20.2	(+)0.3	16.8
	特殊鋼生産品販売量(千t/期)	2.2	2.5	(+)0.3	1.9
	高機能材比率(%)	44%	42%	(-)2%	41%

* 原油FOBは、ドバイスポットベース

以 上